

会議等名	令和7年第1回海老名市外部評価委員会
日時	令和7年2月18日(火) 10:00~11:30
場所	海老名市役所 3階 政策審議室
出席者	外部評価委員：谷村委員長、市野澤副委員長、田中委員、石井委員、 金岡委員、永野委員、酒井委員、日吉委員、青木委員、 塩脇委員 (以上10名出席) 事務局：伊藤財務部長、石田政策経営担当課長、 久保寺政策経営係長、下川主事
<p>1 開会 事務局あいさつ</p> <p>2 あいさつ (1) 部長あいさつ (2) 委員長あいさつ</p> <p>3 議題 (1) 令和7年度の行政評価について 【事務局より資料に基づき説明】 【委員より意見・質問】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 計画そのものを評価するのか。それとも、計画の実績について評価するのか。</p> </div> <p>(委員長回答) 計画の実績について評価を行う。計画自体は所管課が作成しており、その計画の実施期間に行った結果について、担当部課が評価を行い、その結果をもとに評価を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 複数年で実施する計画に対し、実施した年度の評価を所管課が行い、それをもとに新計画を立てると思うが、それに対し市民目線で修正してほしい点等の意見を言うのか。</p> </div> <p>(事務局回答) 所管課が次の計画を立てるにあたり、所管課が現行の計画の実績や課題をまとめて評価を行う。その評価に対して、市民目線で妥当か否か判断していただきたい。評価結果について、市民の目線が入ることがなかったため、外部評価委員会では評価結果について評価していただきたい。新計画については、審議会等で検討していくものである。</p>	

○ 新計画を決定する素案に絡んでくるのか。外部評価と新計画、パブリックコメントについて整理をしたい。

(事務局回答) 外部評価委員会では素案ではなく、現行の計画の実績について評価を行う。新計画については、所管課と審議会で作成をしていく。パブリックコメントは新計画についての意見公募手続きである。

○ 今年は予算事業について評価を行ったので、計画の中の本年度分しか見ることができず、全体像が見えなかった。次年度からは計画の全体に対する評価ということではどうか。

(事務局回答) そのとおりである。計画全体を見て評価をしていただく。

○ 総合計画の中間総括は行わないのか。個別計画の評価だと分野に偏りが出ないか。

(事務局回答) 20 プランには予算事業と個別計画が定められている。この4年間は予算事業しか評価しておらず、個別計画の評価に手を付けていなかったため、事務局としてはまずは個別計画の評価を行いたい。総合計画自体が理念計画となっており、具体的な KPI 等が定められているものではない。そのため、総合計画にぶら下がっている個別計画で進捗をはかっている。その意味でも計画を評価することに意義がある。

○ 評価の視点であるが、成果測定という観点からだと定量的な評価より定性的な評価を行うこととなるか。

(事務局回答) 評価の視点については事務局でさらに検討をしていくが、数値的な調書の作成は想定していない。成果物についての評価になると思う。次の委員会で具体的な評価方法について提案させていただきたい。

○ 総合計画審議会で 20 プランの中間評価等を行うならよいが、現在休眠している。総合計画策定後から現在までの5年間でも状況の変化がある。将来人口の増減もあるため、その点の評価を行う必要があるのではないか。

(事務局回答) 行政評価という点では総合計画に位置づけられている事業、個別計画を評価するという視点でお願いしたい。将来人口等は次期総合計画の策定のタイミングで議論を行っていく。

○ 個別計画は20年からの5年分と考えるのか。それであれば、中間総括もそこでできるのではないか。

(事務局回答) 総合計画にぶら下がっている計画は約80計画あるが、行動計画や宣言等評価になじまない計画を除くと25計画ほどになる。総合計画の改訂時期に合わせる計画が多いため、来年度は2計画、5年後は10計画を超えると想定している。

○ 予算事業は単年度、個別計画は複数年度であると認識している。対象が異なり、評価の方法は今年度と似ていると思うが。

(事務局回答) 計画期間で行う事業等が定められている。その期間内の進捗等について所管課が評価を行うので、それに対し市民目線で妥当か否かを判断してもらいたい。実際の評価の方法は変わらず、対象になるものが変わる。

○ 今まで計画策定にあたり評価を行ってきたと思うが、計画によって書式等は異なるのか。ある程度統一した評価を行いたい。

(事務局回答) 書式は異なる。事務局としても、外部評価として視点は統一したいが、どう評価基準を設定するかは検討しているところである。少し時間をいただき、案を作りたい。

○ 書式を合わせることに労力を使うのではなく、計画を読み込んで問題点について指摘すればよいのではないか。計画が20プランにあっているか、20プラン策定以降の状況変化に対応できているか等、本質的な部分を判断する必要がある。評価を行ってみて検討していきたい。

(事務局回答) ご意見を参考に事務局でも検討する。

○ 事務局から来年度評価する計画は2計画だという話があった。班を分けて同時に評価作業を行うか、1計画ずつ評価するかという問題もあるが。

(事務局回答) 事務局の方でも所管課と調整したうえで検討し、提案する。

○ 今後はどのような流れになるのか。

(事務局回答) 評価の今後の進め方について、所管課等と調整してスケジュールを定めたい。また、様式等についても検討を行い、次の委員会で具体的な評価方法を提案させてもらいたい。予算事業の場合は9月までに評価を終える必要があったが、個別計画の評価では、計画改訂時期と評価作業を合わせるため以前より時間的な猶予はある。

○ 所管課に一度計画概要の説明を受け、そのあとにヒアリング及び評価作業を行う方が作業が行いやすいと思う。

(事務局回答) ご意見をご参考にスケジュールの検討を行う。

(2) その他

○今後の外部評価委員会の開催日について

第2回 令和7年4月24日(木) 13時～ 政策審議室

4 閉会